

団体名 公益社団法人 国際経済労働研究所

所在地 大阪市中央区北浜東3-14 大阪府立労働センター4階

設立 1948年

Email politica@iewri.or.jp

HP <https://www.iewri.or.jp>



団体概要

Mission: 国内外の労働・経済・社会に関する調査研究を行い、公共の政策形成及び労働運動をはじめとした社会的運動の発展に寄与し、もってあるべき社会の実現と学術に資することを目的とする。

Vision: 労働界、学界、産業界とのネットワークを広げ、調査運動を社会全体を包括するものへと深化させ、公共の政策形成に寄与するシンクタンクとなっていく。



主な取り組み・課題

・労働運動・社会運動の支援と課題解決

労働運動や社会運動に資する調査研究を実施し、労働者の地位向上と課題解決を研究面から支える

・働く人びとの意識と実態の解明

働く人びとの労働組合への意識や働きがいなどを調査し労働環境や制度深化に資する情報を提供

・政策実現と政治参画への貢献

政治意識調査を実施し組合員の政治参画を促進。調査知見を基に、政策立案やアドボカシー活動（政策要求）を支援する

主な活動地域

・日本（全国）



これまでの連携実績

1. 共創関係型(インテグレーション型)

連携先: (社福) 大阪ボランティア協会、(特活) 関西NGO協議会、連合大阪、連合奈良

分野: 「労働運動と市民社会との連携をめざす予備調査 (CLUCS2024)」の実施

対象者: 近畿地域の労働組合員

強み: 調査設計からCSO・労働組合・研究者・当所の4者で実施

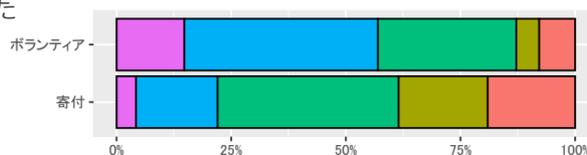
成果: 組合員のNPO等にたいする印象が把握できた

【結果一例】

…ボランティアは「参加することで勉強になる」という回答が多くを占めましたが、寄付が「勉強になる」と感じている組合員は少ないようです。寄付は、友人や知人がやっているかどうかを参考にする度合いもボランティアに比べて低くなっていました。寄付はあくまで個人的に親切心でやるもの——そんなイメージが垣間見えます。…

勉強になる

■ 思う ■ やや ■ どちらとも ■ あまり ■ 思わない



▶ 報告書の全文はこちらからダウンロードできます。



Shared Vision

連携によって実現したいビジョン

社会運動に関わる市民団体・運動体が、
運動の推進のために必要なデータを主体的に収集・分析、活用することで、
エビデンスにもとづく運動の展開が可能な社会を実現する。

私たちができること

- ・社会調査の専門家による調査の企画・実施
- ・既存調査の再分析やレポート作成
- ・労働界（労働組合）との関係性・つながり

サポートして欲しいこと

- 労働組合以外の広範な社会運動体との関係構築し、運動体の資金力のみには依存しない連携を実現するための、
- ・調査の趣旨に賛同するさまざまなアクターが拠出するしくみづくり
 - ・その枠組みを通じた共同事業への参加

ビジョン実現のためにチャレンジしたいこと

研究所を、「社会運動を“実装”するための研究の拠点（プラットフォーム）」にしたい。
調査研究を結節点にして、市民社会組織（CSO）、企業、労働組合の三者が協力・連携し、課題に取り組むしくみを作り、社会に広げていきたい。